

2014年2月5日

報道関係者 各位

ライフネット生命保険株式会社

～2014年、今年こそ見直したいものに関する調査～

■消費税が8%になる今年、どうする？家計のやりくり

- ◆ 世の中の声。「消費増税が怖いから…、今より月1万円節約したい」
- ◆ “耐え忍ぶ節約”に終わりなし！？増税を前に見直して節約できそうなものは？
1位「外食・飲み会費」2位「娯楽費」3位「家庭の食費」
- ◆ “我慢なしでできる節約”は見直し対象外！？
人生で2番目に高い買い物、生命保険の「保険料」は、「見直せないと思う」が9割

■増税決定後に始めた家計の対策は！？

- ◆ 我慢なしでできる節約「LED電球」「節電家電へ買い替え」
- ◆ 日々耐え忍ぶ節約「休日はなるべく家で過ごす」「トイレの水を風呂の残り湯でカバー」
- ◆ 「増税分余計に働く」といった意見も！

■毎月のお小遣いは足りていますか？

- ◆ 「今よりもお小遣いを増やしたい」6割、「1万円以下でも増えれば嬉しい」3割
- ◆ 増えたお小遣いの使い道「豪華な食事」「毎月小旅行へ行く」

■もしも、生まれ持ったカラダを見直せるなら？

- ◆ 男女ともに1位「お腹」、2位には「歯」がランクイン
- ◆ 目指せ脚線美？女性が見直したいパーツ上位に「足」や「おしり」

■もしも、人生を見直せるなら？

- ◆ 「学生生活をやり直したい」4割強
- ◆ 熟年夫婦はご注意を！50代女性の4割が「結婚相手を見直したい」
- ◆ 会社員の3人に1人は「就職先を見直したい」

本リリース内容の転載に際しては、「ライフネット生命調べ」とご記載ください。

グラフデータは、ライフネット生命ウェブサイトよりご利用いただけます。

<http://www.lifenet-seimei.co.jp/newsrelease/>

本件に関するお問い合わせ先

ライフネット生命保険株式会社 マーケティング部: 関谷

TEL: 03-5216-7900

ライフネット生命保険株式会社

Copyright© LIFENET INSURANCE COMPANY All rights reserved.

アンケート総括

インターネットを活用して新しい生命保険サービスを提供するライフネット生命保険株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 COO 岩瀬大輔)は2013年12月2日~4日の3日間、20~59歳の男女を対象に、「2014年、今年こそ見直したいものに関する調査」をモバイルリサーチ(携帯電話によるインターネットリサーチ)で実施、1,000名の有効回答を集計しました。

■消費税が8%になる今年、どうする?家計のやりくり

- ◆ 世の中の声。「消費増税が怖いから…、今より月1万円節約したい」
- ◆ “耐え忍ぶ節約”に終わりなし!?増税を前に見直して節約できそうなものは?

1位「外食・飲み会費」 2位「娯楽費」 3位「家庭の食費」

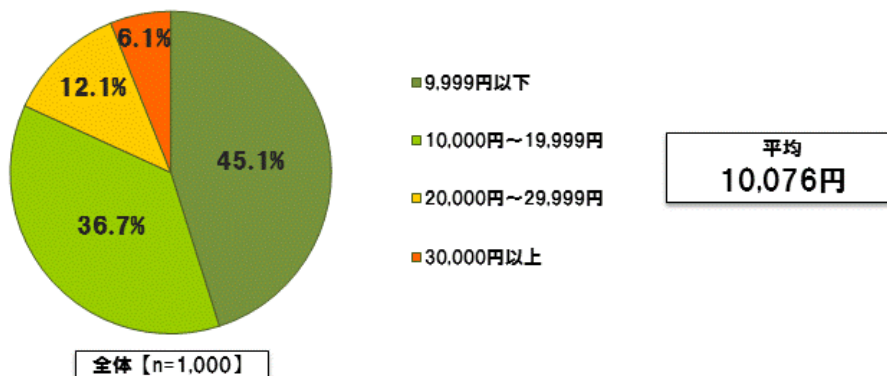
- ◆ “我慢なしでできる節約”は見直し対象外!?

人生で2番目に高い買い物、生命保険の「保険料」は、「見直せないと思う」が9割

2014年4月の消費増税が決定し、家計への負担増が懸念されます。これを機に、さまざまな出費を見直すという方もいるのではないのでしょうか。

そこで、消費増税に向けて、家計をやりくりして今より月にいくら節約したいかを聞いたところ、「9,999円以下」が4割半(45.1%)、「10,000円~19,999円」が3割半(36.7%)となり、平均は10,076円となりました。

- ◆2014年4月の消費増税に向けて、家計をやりくりして今より月にいくら浮かしたいか(自由回答結果を集計)



では、見直しの対象となるのはどのような費目なのでしょう。

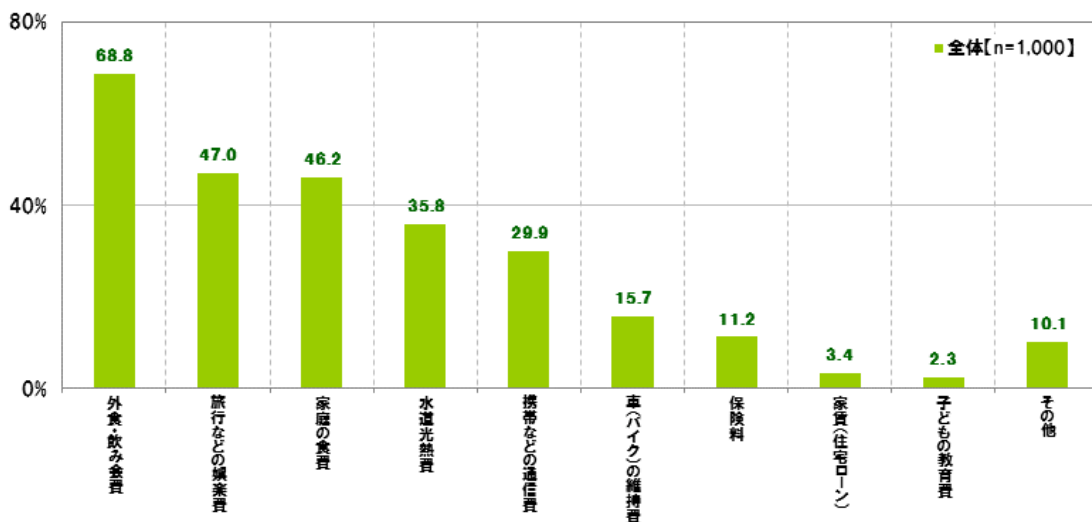
消費増税前までに見直して節約できる(削れる)と思うものを聞いたところ、「外食・飲み会費」が7割(68.8%)でもっとも高くなりました。次いで「旅行などの娯楽費」(47.0%)、「家庭の食費」(46.2%)、「水道光熱費」(35.8%)となりました。

一方で、1世帯あたりの年間払込保険料が平均41.6万円^{*1}、人生で2番目に高い買い物ともいわれる生命保険の「保険料」を見直して節約できると答えた人はわずか1割(11.2%)と、9割の人が「見直せないと思う」という結果になりました。人生で最も高い買い物といわれる住宅購入に関連する「家賃(住宅ローン)」(3.4%)も低い結果となっています。

保険料や住宅ローンといった固定費は、一度見直すだけで生活レベルを変えずに持続的な節約が見込める可能性もあるものですが、調査結果では、飲食や娯楽、水道光熱費など、日々少しずつの我慢で節約できるものから実行していこう、と考えている人が多いようです。

^{*1} 生命保険文化センター平成24年度「生命保険に関する全国実態調査」

◆2014年4月の消費増税前までに、見直して節約できる(削れる)と思うもの(複数回答)



■増税決定後に始めた家計の対策は！？

- ◆ **我慢なしでできる節約「LED電球」「節電家電へ買い替え」**
- ◆ **日々耐え忍ぶ節約「休日はなるべく家で過ごす」「トイレの水を風呂の残り湯でカバー」**
- ◆ **「増税分余計に働く」といった意見も！**

では、消費税 8%への増税が決定した後、どのような節約や見直しを始めているのでしょうか。自由回答ですでに始めている節約や見直しの具体的な行動を聞いたところ、さまざまな意見が寄せられました。

まず、「節電家電品への買い替え。電気代や水道代など光熱費のプランの見直し」(30代女性)、「電球をLEDとした」(50代男性)など、我慢をせずにできる節約術や、「大型テレビの購入を行った」(20代男性)、「増税前の新車購入」(40代男性)といった、必要な買い物を増税前に済ませる方法など、さまざまな工夫で節約生活を始めている様子がうかがえました。

一方、我慢を必要とする節約として、次のような意見もありました。「友人との付き合い(飲み会)を極力減らす。休日はなるべく家で過ごす」(40代男性)、「トイレに使う水を風呂の残り湯でカバー」(50代男性)など、かなり切実な節約生活を始めている人も見受けられました。

このように、消費増税への対策としてお金を節約する行動を開始する意見が多いなか、「資産運用で増やす」(30代男性)、「増税分余計に働く」(40代男性)といった、増税分のお金を自力で増やすといった意見もありました。節約だけでなく、資産や収入を増やしていくという考え方も、消費増税対策の一つの手段といえるのかもしれませんが。

◆消費増税8%への増税決定後に始めた節約や見直しの具体的な行動 ※自由回答抜粋

外食費	家庭の食費	水道光熱費	趣味・娯楽費
飲み会は月1回に削る 20代男性	食材は安い時に買って、日保ちする料理を作り、無駄にしない 30代男性	節電家電品への買い替え。電気代や水道代など光熱費のプランの見直し 30代女性	趣味に使うお金を減らす 20代女性
外食を控えて自炊を増やす 20代女性	少しでも安く買い物するために、遠くても安いスーパーに行く 40代女性	電球をLEDとした 50代男性	休日にあまり外出しなくなった 40代女性
友人との付き合い(飲み会)を極力減らす。休日はなるべく家で過ごす 40代男性	お酒のランクを下げた 50代男性	トイレに使う水を風呂の残り湯でカバー 50代男性	旅行の見直し 50代男性
固定費(通信費・保険料等)	増税前購入	増やす	これ以上節約できない
保険の見直し 40代男性	大型テレビの購入を行った 20代男性	資産運用で増やす 30代男性	今までも節約し努力していたので変わらない 20代女性
住宅ローンの見直し 40代女性	リフォームを4月までに終わらせる 30代女性	増税分余計に働く 40代男性	以前から水道光熱費や食費は気を付けているので、削りようがない 40代女性
携帯電話の料金設定の見直し 40代男性	増税前の新車購入 40代男性		あらゆる工夫で節約をしています。これ以上はどうしようもない 50代女性

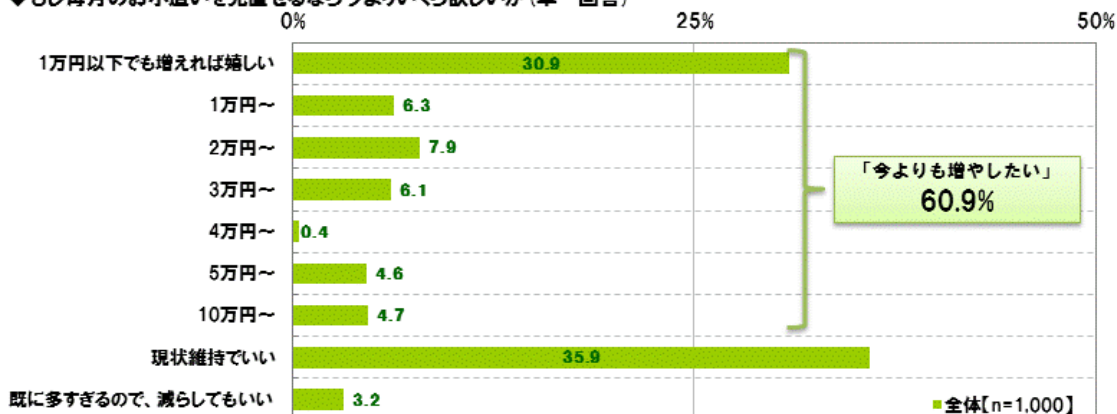
■毎月のお小遣いは足りていますか？

- ◆ 「今よりもお小遣いを増やしたい」6割、「1万円以下でも増えれば嬉しい」3割
- ◆ 増えたお小遣いの使い道 「豪華な食事」「毎月小旅行へ行く」

消費増税に向けて、“お小遣い”の捻出に苦労している方もいるのではないのでしょうか。

全回答者(1,000名)に対し、もし毎月のお小遣いを見直せるなら今よりいくら欲しいかを聞いたところ、「現状維持でいい」は3割半(35.9%)、対して、「今よりも増やしたい」は6割(60.9%)となりました。金額は、「1万円以下でも増えれば嬉しい」が3割(30.9%)で最多となっています。

◆もし毎月のお小遣いを見直せるなら今よりいくら欲しいか(単一回答)



それでは、実際にお小遣いが増えたらどのようなことに使いたいと考えているのでしょうか。

毎月のお小遣いを「今よりも増やしたい」と回答した方(609名)を対象に、お小遣いが増えた場合の使い道を自由回答で聞いたところ、「豪華な食事」(20代男性)や「毎月小旅行に行く」(20代女性)のように、増えた分は自分へのご褒美に使いたいという意見が散見されました。また、「車を買換えるための蓄え」(40代男性)や「バイク貯金」(30代男性)など、コツコツと貯金をして、欲しいものを買いたいとの意見も見られました。

◆もしお小遣いが増えた場合の使い道

※自由回答抜粋

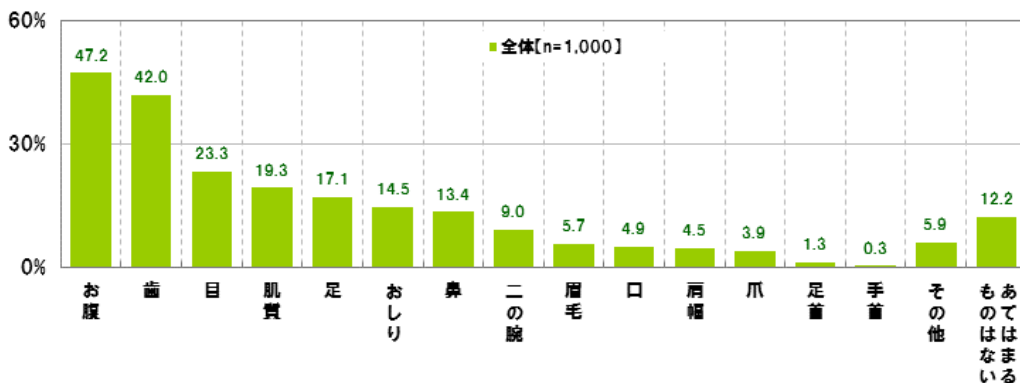
食費(外食費含む)	趣味・娯楽費	自己投資
豪華な食事 20代男性	ゴルフと旅行 50代男性	自分磨きに費やしたい 30代女性
屈食をほんのちよっと贅沢に 40代男性	お友達と会う時間を増やす 20代女性	自分のために家庭教師の先生を雇いたい 30代女性
プチ贅沢な外食 40代女性	毎月小旅行に行く 20代女性	語学力向上 40代男性
貯金	美容	物を買う
車を買換えるための蓄え 40代男性	エステや肌のケアにけるお金 20代女性	服や装飾品を購入 40代男性
万が一の時の為の預金 50代男性	もっとまめに美容室に行きたい 40代女性	新しいパソコンが欲しい 20代女性
バイク貯金 30代男性	化粧 ダイエット 50代女性	家事を楽に出来る家電が欲しい 50代女性

■もしも、生まれ持ったカラダを見直せるなら？

- ◆ 男女ともに1位「お腹」、2位には「歯」がランクイン
- ◆ 目指せ脚線美？女性が見直したいパーツ上位に「足」や「おしり」

生活費やお小遣いなどの金銭事情以外にも、見直したいと考えているものはあるのでしょうか。全回答者(1,000名)に、もし自身のカラダを見直しできるとしたらどこを見直したいか聞いたところ、「お腹」が4割半(47.2%)でトップになりました。お腹周りのスタイルを気にしている方が多いようです。以下、2位には「歯」(42.0%)、3位には「目」(23.3%)と、顔のパーツが上位になりました。

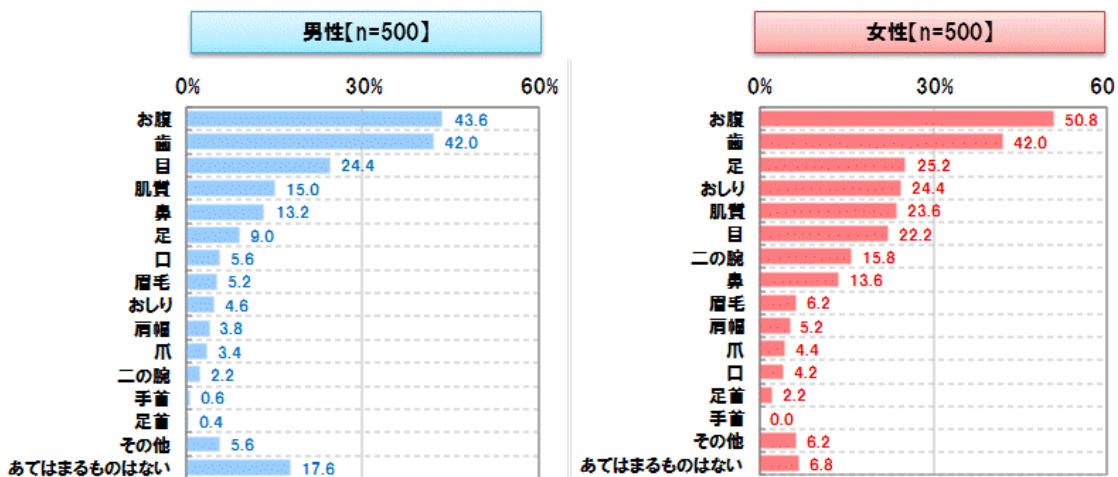
◆もし自身のカラダを見直しできるとしたらどこを見直したいか(複数回答、最大3つまで)



男女別でみると3位以降に差が見られ、男性の3位は「目」(24.4%)、4位は「肌質」(15.0%)となった一方、女性の3位は「足」(25.2%)、4位は「おしり」(24.4%)となっています。美脚や、美しいヒップラインへの憧れからか、腰から下のラインを見直したい、と考えている女性の割合が高くなりました。

◆もし自身のカラダを見直しできるとしたらどこを見直したいか(複数回答、最大3つまで)

男女別



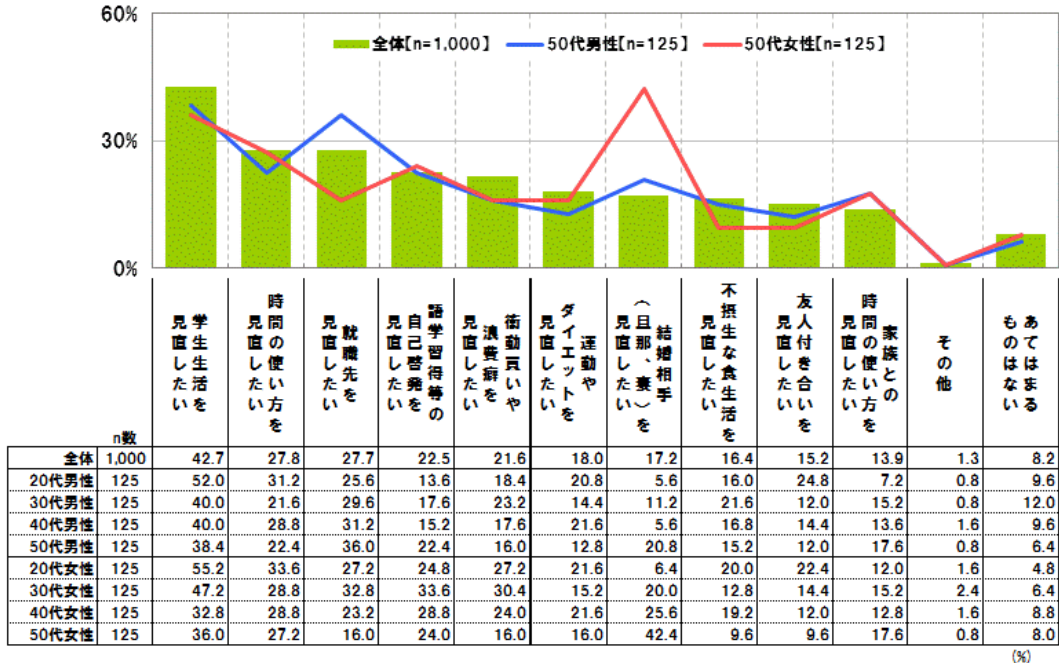
■もしも、人生を見直せるなら？

- ◆ 「学生生活をやり直したい」4割強
- ◆ 熟年夫婦はご注意ください！50代女性の4割が「結婚相手を見直したい」
- ◆ 会社員の3人に1人は「就職先を見直したい」

最後に、もし自身の過去を見直しできるとしたら、何を見直したいと思っているか質問しました。もっとも割合が高かったのは「学生生活を見直したい」(42.7%)でした。勉強や部活動など、学生時代にやり残したことがあるのかもしれませんが。以下、「時間の使い方を見直したい」(27.8%)、「就職先を見直したい」(27.7%)が続きました。

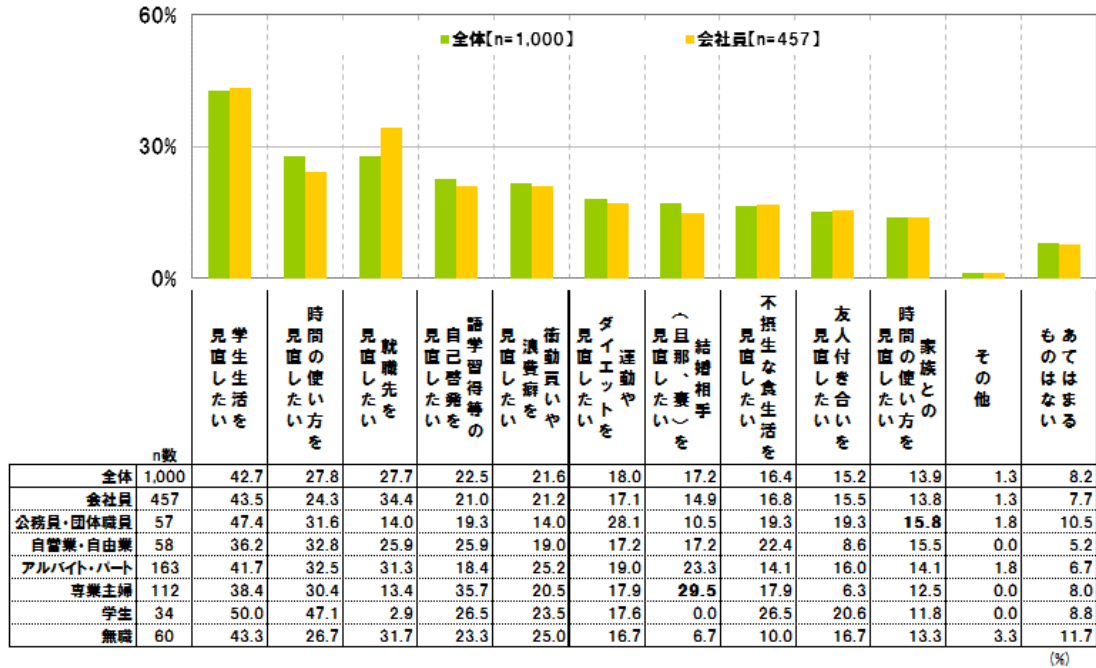
また、男女・年代別に「結婚相手(旦那、妻)を見直したい」と回答した割合を比較すると、50代女性(42.4%)は50代男性(20.8%)の2倍以上の割合となっています。熟年夫婦では、女性のほうがパートナーに対する不満を溜めがちなのかもしれません。

◆もし自身の過去を見直しできるとしたら何を見直したいか(複数回答、最大3つまで)
男女・年代別



また、職業別にみると、会社員の3人に1人(34.4%)は「就職先を見直したい」との希望を抱いていることがわかります。もし別の会社を選んでいればまた違った人生があったのかもしれない、と就職先の見直しを夢見る方も多いようです。

◆もし自身の過去を見直しできるとしたら何を見直したいか(複数回答、最大3つまで)
 職業別



■■調査概要■■

- 調査タイトル: 2014年、今年こそ見直したいものに関する調査
- 調査対象: ネットエイジアリサーチのモバイルモニター会員を母集団とする
20～59歳の男女 (20代・30代・40代・50代×男女 各125名)
- 調査期間: 2013年12月2日～12月4日
- 調査方法: モバイルリサーチ
- 調査地域: 全国
- 有効回答数: 1,000サンプル(有効回答から1,000サンプルを抽出)
- 実施機関: ネットエイジア株式会社

■■報道関係者様へのお願い■■

本リリース内容の転載にあたりましては、「ライフネット生命調べ」という表記をお使い頂けますよう、お願い申し上げます。

- 会社名 : ライフネット生命保険株式会社
- 代表者名 : 代表取締役社長兼 COO 岩瀬 大輔
- 設立 : 2006年10月
- 所在地 : 東京都千代田区麹町二丁目14番地2 麹町NKビル
- 業務内容 : インターネットを利用した生命保険の販売
- ホームページ : <http://www.lifenet-seimei.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

ライフネット生命保険株式会社 マーケティング部: 関谷
TEL: 03-5216-7900

調査協力会社: ネットエイジア株式会社

◆ ライフネット生命について URL: <http://www.lifenet-seimei.co.jp/>

ライフネット生命保険は、相互扶助という生命保険の原点に戻り、「正直に経営し、わかりやすく、安くて便利な商品・サービスの提供を追求する」という理念のもとに設立された、インターネットを主な販売チャネルとする新しいスタイルの生命保険会社です。インターネットの活用により、高い価格競争力と24時間いつでも申し込み可能な利便性を両立しました。徹底した情報開示やメール・電話・対面での保険相談などを通じて、お客さまに「比較し、理解し、納得して」ご契約いただく透明性の高い生命保険の選び方を推奨し、「生命(いのち)のきずな＝ライフネット」を世の中に広げていきたいと考えています。

ライフネット生命保険株式会社

Copyright© LIFENET INSURANCE COMPANY All rights reserved.